令和４年８月２５日

郡市区等医師会　　御中

大 阪 府 医 師 会
（公印省略）

「感染症発生動向情報（第３３週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

http://www.iph.pref.osaka.jp/

【問合せ先】
大阪府医師会・地域医療１課
TEL 06－6763－7012

大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2022年 第33週（8月15日～8月21日）

今週のコメント

～手足口病～　手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「手足口病　増加」

第33週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,095例であり、前週比10.4%減であった。定点あたり報告数の第１位はRSウイルス感染症で以下、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.68、1.44、0.78、0.21、0.15である。

RSウイルス感染症は前週比24%減の526例で、大阪市西部5.20、大阪市北部4.14、北河内3.68、泉州3.47、堺市3.32であった。

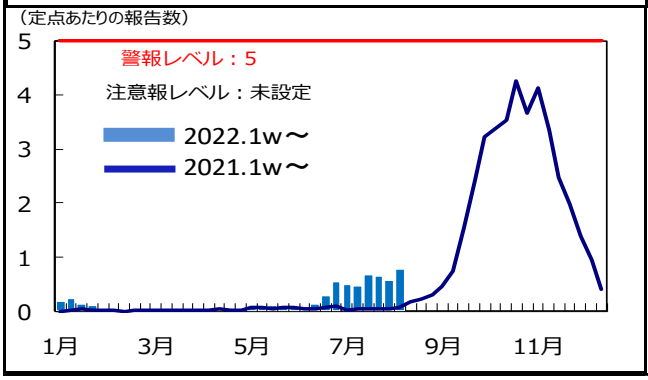
感染性胃腸炎は4%増の283例で、南河内2.31、中河内2.05、大阪市西部1.60である。

手足口病は33%増の153例で、三島1.29、南河内1.06、大阪市北部・大阪市西部1.00であった。

ヘルパンギーナは2%減の42例で、大阪市北部0.43、大阪市西部0.40、三島0.29である。

インフルエンザは府内で8例の報告があった。

手足口病



RSウイルス感染症

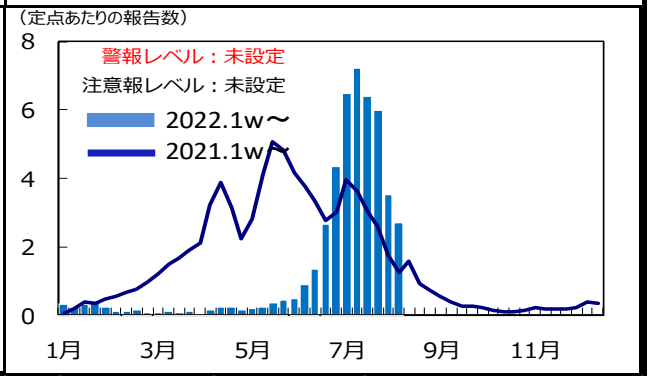


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2022年 第33週8月15日～8月21日）

第33週の順位	第32週の順位	感染症	2022年第33週の定点あたり報告数	前週比増減	2021年第33週の定点あたり報告数	2022年第33週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	RSウイルス感染症	2.68	24%減	1.23	１歳_31%
2	2	感染性胃腸炎	1.44	4%増	2.18	１歳_20%
3	3	手足口病	0.78	33%増	0.07	１歳,２歳_28%
4	4	ヘルパンギーナ	0.21	2%減	0.09	１歳_31%
5	6	突発性発しん	0.15	14%減	0.26	１歳_57%

突発性発しんについて、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2021/22年シーズンのインフルエンザ集計は第12週で終了しました。

第33週のコメント

～梅毒～　大阪府における梅毒累計報告数は、年間報告数が過去最高であった2018年の同時期より多くなっている。

全数把握感染症

梅毒

全国の梅毒の報告数は、2020年5,784例、2021年は過去最高の7,873例と増加している。大阪府では2018年の1,188 例が過去最高となっている。

梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

梅毒(大阪府感染症情報センター)

梅毒(大阪健康安全基盤研究所)

梅毒とは(国立感染症研究所)

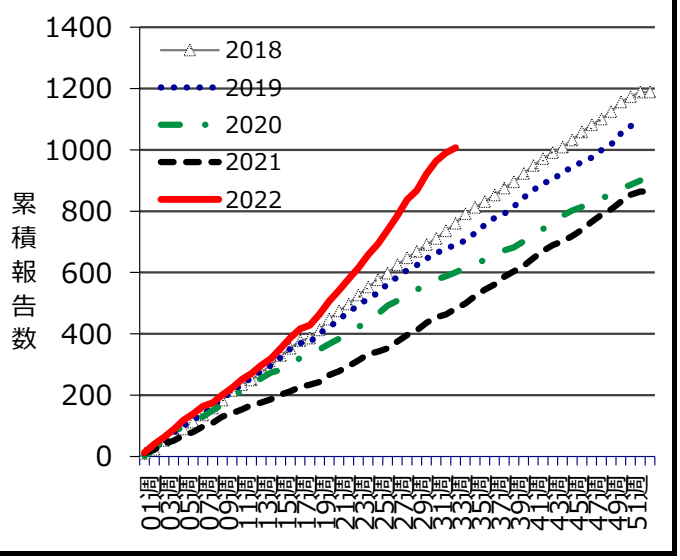


表２．大阪府全数報告数（2022年 第33週8月15日～8月21日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**2**		1					1		97
４類感染症	**レジオネラ症（肺炎型）**	**1**		1							65
	レジオネラ症（ポンティアック熱型）	**2**								2	
５類感染症	**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**	**2**			1	1					78
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**1**								1	23
	侵襲性肺炎球菌感染症	**1**								1	58
	梅毒	**17**	1			2				14	1007
新型インフルエンザ等感染症	**新型コロナウイルス感染症**	**139,042**	2020年1月以降累計　1,771,502								
結核 （2022年6月分）	**結核　新登録患者数：81名** （内　肺・喀痰塗抹陽性　34名） （府内累積報告数　528名、内　肺・喀痰塗抹陽性　194名）										

（2022年8月23日　集計分）

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。

感染症発生動向調査情報　（ブロック別　・　疾患別　・　年齢別患者発生数）

2022年8月23日

第33週　2022年8月15日～2022年8月21日

（ブロック別）

疾病名	ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市北部	09 大阪市西部	10 大阪市東部	11 大阪市南部	合計
定点数	小児科	23	17	25	20	16	19	19	14	10	15	18	196
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
	基幹	2	2	2	2	1	2	1	4				16
	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	35	25	40	31	24	29	32	20	15	22	27	300
小児科定点把握疾患	RSウイルス感染症	24	34	92	13	53	63	66	58	52	21	50	526
	咽頭結膜熱	1	1	0	5	0	0	4	1	0	0	3	15
	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	2	2	8	2	0	1	1	0	3	2	21
	感染性胃腸炎	20	25	38	41	37	25	24	21	16	12	24	283
	水痘	3	0	3	0	3	2	1	0	1	0	0	13
	手足口病	10	22	19	12	17	12	13	14	10	11	13	153
	伝染性紅斑	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	突発性発しん	4	2	7	6	3	0	2	0	1	1	4	30
	ヘルパンギーナ	6	5	5	0	2	5	2	6	4	4	3	42
	流行性耳下腺炎	0	0	2	1	2	0	0	0	0	1	1	7
眼科定点把握疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	3
合計		68	91	169	89	119	107	114	101	84	53	100	1095
基幹定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	1	0	0				1
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0	0	0				0
イ定	インフルエンザ	0	0	1	0	5	0	1	0	0	1	0	8

（年齢別）

疾病名	年齢区分 6ヶ月未満	6ヶ月未満 12ヶ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳から14歳	15歳から19歳	20歳以上	合計
R	56	79	164	121	69	21	13	1	1	0	1	0	0	0	526
咽	0	1	3	3	2	3	0	0	0	0	0	0	0	3	15
A	0	1	3	1	3	2	1	1	1	0	0	3	1	4	21
感	7	27	56	30	33	12	19	12	13	7	10	23	9	25	283
水	0	0	1	1	1	0	2	0	4	0	1	3	0	0	13
手	1	20	43	43	22	12	5	3	1	0	1	2	0	0	153
伝	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
突	3	6	17	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	30
ヘ	0	7	13	7	7	0	3	0	1	0	1	0	0	3	42
流	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	3	0	0	7
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
合計	67	141	300	210	138	53	43	18	21	7	15	34	10	38	1095
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
マ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5	8

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2022年8月23日

（ブロック別）

第33週　2022年8月15日～2022年8月21日

疾病名	ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市北部	09 大阪市西部	10 大阪市東部	11 大阪市南部	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合 計	上位5疾患順位
定点数	小児科	23	17	25	20	16	19	19	14	10	15	18	83	57	19	12	8	9	8	196	
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52	
	基幹	2	2	2	2	1	2	1	4				7	4	2	1	2	0	0	16	
	インフルエンザ	35	25	40	31	24	29	32	20	15	22	27	130	84	29	18	13	13	13	300	
小児科定点把握疾患	RSウイルス感染症	24	▼ 34	92	▼ 13	▽ 53	▼ 63	▼ 66	△ 58	△ 52	▼ 21	▼ 50	▼ 179	181	▼ 63	▼ 9	19	△ 5	40	▼ 526	1
	咽頭結膜熱	△ 1	△ 1	▼ 0	△ 5	▽ 0	▽ 0	△ 4	1	0	0	▽ 3	▼ 4	▼ 4	▽ 0	△ 5	△ 1	△ 1	0	15	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▽ 0	▼ 2	△ 2	8	▽ 2	▼ 0	▽ 1	▽ 1	▽ 0	△ 3	▽ 2	▽ 6	▽ 6	▼ 0	8	0	0	1	▽ 21	
	感染性胃腸炎	▼ 20	△ 25	△ 38	41	37	▽ 25	24	21	△ 16	△ 12	24	94	73	▽ 25	▼ 19	△ 16	△ 6	△ 22	283	2
	水痘	△ 3	0	▽ 3	▽ 0	△ 3	△ 2	▽ 1	0	△ 1	▽ 0	0	6	1	△ 2	▽ 0	0	△ 1	▽ 1	13	
	手足口病	10	△ 22	△ 19	△ 12	17	12	△ 13	14	▲ 10	△ 11	13	△ 63	▲ 48	12	△ 9	△ 5	▽ 4	△ 5	△ 153	3
	伝染性紅斑	▽ 0	0	0	▲ 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 2	0	0	0	▲ 2	
	突発性発しん	4	△ 2	△ 7	△ 6	▼ 3	▽ 0	▼ 2	▽ 0	△ 1	△ 1	▽ 4	12	▽ 6	▽ 0	△ 4	▽ 0	△ 3	△ 3	30	5
	ヘルパンギーナ	△ 6	△ 5	△ 5	▽ 0	2	△ 5	▼ 2	▽ 6	▽ 4	△ 4	▽ 3	7	▽ 17	△ 5	▽ 0	△ 3	△ 1	△ 4	42	4
	流行性耳下腺炎	0	0	△ 2	△ 1	△ 2	▽ 0	0	0	0	△ 1	△ 1	△ 3	△ 2	▽ 0	0	0	0	△ 1	△ 7	
眼科定点把握疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	0	0	1	△ 1	0	0	▼ 1	0	0	0	0	▼ 1	0	0	0	0	0	1	3	
合 計		68	91	169	89	▼ 119	▼ 107	▼ 114	△ 101	△ 84	△ 53	▽ 100	▼ 375	338	▼ 107	▼ 56	△ 44	△ 21	△ 78	1095	
基幹定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	△ 1	0	0				0	0	△ 1	0	0	0	0	△ 1	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
イ定	インフルエンザ	0	▽ 0	△ 1	▼ 0	△ 5	0	▼ 1	0	0	△ 1	▽ 0	△ 7	▼ 1	0	▼ 0	0	0	0	8	

△▽・・・前週比20%以上増減　▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計　　2022年32週(08月08日～08月14日)

1～4類（全数把握）	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ（A/H1N1）	0
急性灰白髄炎	0
結核	172
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）	0
中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）	0
鳥インフルエンザ（H5N1）	0
鳥インフルエンザ（H7N9）	0
コレラ	0
細菌性赤痢	0
腸管出血性大腸菌感染症	111
腸チフス	0
パラチフス	0
E型肝炎	4
ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）	0
A型肝炎	0
エキノコックス症	0
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
サル痘	1
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属ＳＦＴＳウイルスであるものに限る。）	1
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	0
デング熱	5
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１及びＨ７Ｎ９を除く。）	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	5
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	0
マラリア	1
野兎病	0
ライム病	1
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	1
レジオネラ症	44
レプトスピラ症	0
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部（全数把握）	報告数
アメーバ赤痢	1
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）	3
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	18
急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	0
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	7
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6
後天性免疫不全症候群	4
ジアルジア症	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	8
水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）	2
先天性風しん症候群	0
梅毒	105
播種性クリプトコックス症	0
破傷風	2
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0
百日咳	5
風しん	0
麻しん	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	111	0.02
ＲＳウイルス感染症	4757	1.59
咽頭結膜熱	246	0.08
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	591	0.20
感染性胃腸炎	4838	1.61
水　痘	157	0.05
手足口病	7911	2.64
伝染性紅斑	18	0.01
突発性発しん	625	0.21
ヘルパンギーナ	1773	0.59
流行性耳下腺炎	53	0.02
急性出血性結膜炎	-	-
流行性角結膜炎	84	0.13
細菌性髄膜炎	8	0.02
無菌性髄膜炎	7	0.01
マイコプラズマ肺炎	9	0.02
クラミジア肺炎（オウム病を除く。）	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.00

定点数

インフルエンザ	4654
小児科	3000
眼科	651
基幹病院	474

7月(月報)

性感染症・基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症	2607	2.65
性器ヘルペスウイルス感染症	765	0.78
尖圭コンジローマ	518	0.53
淋菌感染症	912	0.93
メチシリン耐性黄色ﾌﾞﾄﾞｳ球菌感染症	1158	2.43
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	60	0.13
薬剤耐性緑膿菌感染症	12	0.03

定点数

ＳＴＤ	982
基幹病院	477

注意　記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。

FAXによる配信から、より情報量の多いメール配信への切り替えをご希望される方は以下のメールアドレスまでご連絡ください

survey@iph.osaka.jp